

## 活動記録書

開催日： 令和7年8月7日（木） 天候 晴れのち 曇	開催テーマ： DVD 環蓬「国宝へようこそ」 1. 日月山水図屏風 2. 春日大社
開催場所： 金沢公会堂	記入者： 浜辺 隆文
参加人数： 会員 28名 準会員 5名 計 33名	
<p><b>実施内容（実施の項目、方法、効果・生家、宿題 など）</b></p> <p><b>1. 日月山水図屏風</b></p> <p>国宝「日月山水図屏風」は、大阪府河内長野市の真言宗御室派大本山、天野山金剛寺にある、室町時代末期（諸説あり）、作者不明の六曲一双の屏風である。一日の巡りを太陽と月を同時に描くことで、また日本の春夏秋冬を右から左へと時計回りに巧みに配置して、一年の循環を表す仕掛けがあり、この屏風には {永遠のときの巡り} が込められている。右隻には海に囲まれてこんもりと盛り上がった山々を春・夏の姿で描き、山間には太陽が金箔であらわされている。左隻は秋の山から続く松林の海岸と、遠景に雪山を描き、銀箔の月があしらわれている。「日月山水図」の意味するものは、四季が巡る日本で自然とともに暮らしてきた日本人の心、古来自然に神や仏を感じ自然を畏れ敬う日本人の心なのであろう。随筆家の白洲正子は、「金剛寺の修行僧が日々の修行の中で感じるままに描いたのだろう。」と推測している。そのダイナミックな表現はまるで大自然の曼荼羅のようだという。自然と一体化するような毎日を過ごしていると、山にも川にもそして空にも、生命がうねるように巡っているのが分かるのだろう。又、見た目の美しさと超絶技巧、金銀箔の秘密の技法など底知れぬ謎を秘めており、絵画性と装飾性が融合した日本絵画の特質を表した逸品でもある。</p> <p><b>2. 春日大社</b></p> <p>春日大社は奈良市春日野町にある全国に約 3000 社ある春日神社の総本社である。ユネスコの世界文化遺産に「古都奈良の文化財」の一つとして登録されている。768 年に平城京の守護と国民の繁栄を祈願するために平城京の東に創建され、中臣氏、藤原氏の氏神を祀る。国宝の本殿は一般の人には目にすることが許されない。本 DVD では 1 月 1 日の未明本殿で行われる神事「歳旦祭」の様子を伝える。変わることなく受け継がれてきた神様の住まいをうかがい知ることが出来る。そこに醸し出される風景は神々への畏敬の念、さらに安らぎをも感じさせる。</p> <p>春日大社は、神が降り立った三笠山のふもとに創建された。春日野の森の中で木々が奏でる音、雨が葉に当たる音など、神は木を伝って訪れると信じられてきた。本殿の「あめのこやねのみこと」の住まいには国宝の楽器『蒔絵琴』が収められていた。金銀の蒔絵、螺鈿の花で飾られ日本で最も美しい楽器といわれる。また若宮にも国宝の「銀琴」が収められている。わずか 26cm の小さな琴で演奏は出来ない。本 DVD では毎年 12 月中旬の「春日若宮おん祭り」も紹介する。神は目には見えないよう、神職に囲まれ神職の「ヤー——」という荘厳な声とともにお出ましになる。そして神楽、田楽、舞楽が奉納され、神への祈りがささげられたのち又神職に囲まれ「ヤー——」という声と共に去っていく、神と人間の間に音が行き交う荘厳な神事である。</p>	
<p><b>参加者の状況・意見など：</b></p> <p>猛暑の中多くの参加者があった、また当日、後半の会費 6,000 円とバス探訪の参加料 13,000 円を受け付けた。</p>	
<p><b>次回の予定：</b></p> <p>令和7年9月4日（木）13時30分 市営地下鉄「センター北」駅集合 横浜市歴史博物館見学</p>	

